

社会福祉施設連絡会 定例会

藤井寺市社会福祉施設連絡会が、6月14日(水)午後2時から、住宅型有料老人ホーム V I V I 藤井寺(野中一丁目)で、会員18名が出席して開催された。

奥田益弘会長から、パープル&社協フェスタに参加、協力して頂いた方々に御礼を申し述べ、昨年からの継続中の災害対策に向けて、市危機管理室に説明会の開催を求めていると報告された。



課が実施している生活困窮者支援活動の資料を提供し、市役所の相談機能を集約する体制を作り、どんな相談でも対応できるネットワーク作りが機能していると説明された。

事務局の前原由幸氏からは、パープル&社協フェスタの報告。また、とつくり委員会について大谷純平委員長が事例検討を通じて、社会資源の使い方を共有することを目的に開催。終了後、懇親会で行なった関係作りを行なったと報告した。(裏面参照)

7月11日(火)に開催する施設職員研修会について、伊藤昌弘氏

から案内。「社会福祉職員は、質の高い福祉サービスを効果的に提供することが役割であり、達成するためには法人としての組織能力を高めていかなければならない。この研修会は、『組織能力とは』という解説から始まり、『組織』を様々な角度から考察し、どのように人を活かした組織を実現できるか、組織能力アップのために何をすべきかを学んでいきたい。」と説明された。

パープル&社協フェスタの報告

今年度で3回目を迎えたパープル&社協フェスタは、6月11日(日)に開催され、市民約2千3百人の参加で終日賑わった。



今年も昨年に引き続き施設連絡会として総合生活相談とコイン落としゲームで参加。特に水槽の茶碗にコインを入れるゲームは、昔懐かしい駄菓子が景品で、誰でも参加できた。午前中を中心に長蛇の列ができた。

施設見学

V I V I 藤井寺

藤井寺市野中1丁目 100-1

施設見学は、慈恵園福祉会 老人保健施設ふじいでらの黒石聡事務長から、青山メディカルグループについての説明を受け、同グループお客様相談室の漆原栄子室長からV i V i 藤井寺の施設案内を受けた。介護・医療サービスを総合的に提供する青山メディカルグループの一員である社会福祉法人「恩徳福祉会」が運営している住宅型有料老人ホームで、平成23年12月1日に開設以来、住み慣れた環境で穏やかな毎日を過ごすことを目標に、いくつになっても楽しむを持った生活を過ごして頂けるように、快適な環境とサービスをみなさまに提供している。



館内は、全室個室タイプ(総居室50室)で、各部屋に洗面台が完備されており、各フロアには車椅子対応トイレも配置されている。また、共同生活室は、明るい光差し込む開放的な空間で、みなさんの毎日の食事や談話などに利用いただいていると説明された。

今年度は、施設連絡会の活動を市民の皆様にも知ってもらおうと、事前にチラシを全戸配布し、参加を呼び掛けることや、民生委員や福祉委員の皆様にも連携を呼びかけることができた。また、ブース出展も、顔見知りの方も係作りも得意、有意義な一日であった。



とっくり委員会報告

生活困窮者支援の現場で活躍する会員の情報共有を目的に、5月24日(水)午後4時半から、どうみようじ高殿苑で、20名が参加して開催された。

大谷純平委員長から、「この会で、現場での支援の在り方を報告し、情報や社会資源を共有することで、会員施設が連携して活動できるようにしていきたい。」と挨拶があった。

事例報告では、西矢隆史氏が、藤井寺特養で扱った「不就労で生活困窮に陥った利用者が就労するまでの支援」(男性・50歳代・独居)を取り上げ、関係者が社会資源について説明した。

西矢氏は、利用者の支援経過を報告しながら、カンファレンスを開催し、役割を分担したこと。助け合い資金を申請したこと。平成29年1月から、利用者に施設食堂で食事を提供し、就労活動を促すため、市就労担当者と情報を共有しサポートを開始したこと。2月中頃に夜勤の就労をスタートされた経緯を報告した。

市社協の前原由幸氏から、**共同募金たすけあい資金**につき、「民生委員・児童委員が、真にやむ得ない事由により援助を必要とするものに対して給付するもので、



地域住民の生活困窮を防ぐセーフティネットの一端を担うものである。

申請は、担当地区民生委員・児童委員が窓口となり、相談申請については、社協が相談に乗っている。H28年度の利用件数は19件だった。」と説明があった。この制度の近隣自治体の状況について、社会貢献支援員の下永田智子氏から、藤井寺市では、上限1万円だが、八尾市では3千円、柏原市5千円、

松原市では物品提供との補足説明があった。次に**食材・食事支援**につき藤井寺特養の西矢氏が説明。利用者の日々の状態が良くわかり、何よりも、温かいご飯とみそ汁の提供は、利用者が笑顔になるひと時であると報告。大谷氏は、どうみようじ高殿苑で実施している真空パック調理品の提供を、他施設からは、おにぎりの提供などの報告があった。

研修会のご案内

藤井寺市社会福祉施設連絡会の特別研修会を下記のとおり開催します。

■テーマ

福祉サービス施設における組織論
「組織能力を高めるために」

■日時

7月11日(火)午後1時半～4時半

■会場

藤井寺市福祉会館2階 講座室

■講師

鈴記裕幸氏

(人材マネジメント研究所 Compass)

講師の鈴記先生は、大手住宅設備機器メーカーの経理、人事、経営企画部門での勤務後、日本マネジメント協会の経営コンサルタントを歴任。現在は、人材マネジメント研究所 Compassを主宰。大阪社会福祉施設経営相談室専門委員1996年から社会福祉法人の組織・人事制度の設計・改革支援にも取り組んでいる。

■参加申込は、施設名・参加者名を明記の上、FAXで賀光会までお申し込みください。定員80名 7月5日迄受付中

社会福祉法人 賀光会

TEL: 072-955-0653

FAX: 072-955-0905

大阪しあわせネットワークシステムの支援物品検索

について下永田氏が説明。支援物品についての具体例を挙げながら、各施設の物品情報をシステムに登録する等、積極的な利用を促した。

市社協大東岳一氏は、大社協の貸付制度の中から、生活福祉資金(緊急小口資金)の利用案内をして、年々利用者が増加している使いやすい制度であると説明した。

また、**無料低額宿泊事業**について、藤井寺特養西矢氏から、開設以来府内各所からの問い合わせが50件を上っていることや、施設間連携で活用した事例を報告した。

手作り料理で懇親会



引き続き、同施設「琥珀」をお借りして懇親会を開催。サントリビールでスコール(乾杯)を唱和し、下永田夫妻手作りの焼きそば、おで

ん、ハンバーグなどの豪華な食事に舌鼓。会員相互の親交を深めた。

とっくり委員会のご案内

日時 7月27日(木)

14時～15時30分

会場 藤井寺市社会福祉協議会

今年の梅雨明けは、気象庁の予想では、7月21日頃と言われています。梅雨期は、大雨による災害の発生しやすい時期です。また、体力も弱っており、感染症や食中毒にも細心の注意が必要で、地域の皆様の安心、安全の為、アウトリーチが必要です。

定例会のご案内

日時 8月9日(水)

14時～15時30分

会場 しゆらの郷福祉会あゆみ